

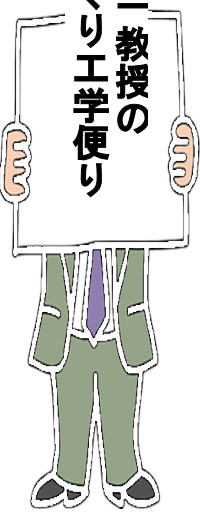
昭和25年（1950）5月、小塚原回向院の本堂の上棟式（たてまえ）が行われました。夕暮れ迫る暗くなり始めた空間に掲げられた何本もの高張提灯に明かりが灯り、大工の頭（かしら）や建築に携わった大勢の職人の木遣り（労働歌）がおくられ、おごそかな素晴らし場面でした。以後、南千住ではこのような上棟式は行われていません。時代の流れの一つの思い出です。回向院の北隣に戦後、柳屋ポマードを抜いて日本一になったケンシポマード会社がありました。今はポマードで髪を固めている若者はいません。時の流れは速いですね。

先日、「南千住一口話を読んで昭和ひとけた時代に親が商売していた場所がわかった。ありがとう。」と感謝されました。昔のことを書き残しておいてよかったですと思いました。

昔のコツ通りの道路は今の道路の1/3の広さでした。明治29年南千住駅が開設されました。大正5〜6年にかけて駅よりのコツ通りの東側の道路が広がり、50余年後、西側の回向院側が広がって現在の道路になりました。大フミキリ（開かずのフミキリ）がトンネルとなり、富士山型の土手が立体的に直されてすっきりとした駅前となりました。また、セメント会社のサイロが無くなり、国鉄の資材置き場だった用品庫のあった場所が開発され、大型の商業施設となりました。それによりコツ通り商店会、仲通り商店会、商友会、べるぼーと商店会など周りの商店会がダメになりました。時代の変化に対応できない商店がどんどん消えています。祭などの行事も運営資金が集まらず、担当者は苦労しています。すぐに素盞雄神社の祭礼が始まります。賑やかにやりたいものです。

☆六郎が語る☆
南千住一口話
第212回

吉田喜一教授の
ものづくり工学便り



今年の高専ロボコンは“洗濯物干し”

都立産技高専名誉教授 吉田喜一

NHKから発表されたルールを抜粋して紹介します。

今年のテーマは“洗濯物干し”です。本物のTシャツ・バスタオル・シーツを、フィールドに設置された3本の物干しざおに、ロボットが美しく干していきます。

ロボットが布を扱うのは難しい課題ですが、ハンガーや洗濯ばさみ、洗濯かごを上手に利用しながら、2台のロボットやチームメンバーが助け合ってチャレンジします。予選ラウンド、決勝トーナメントともにVゴールはなく、得点勝負となります。同点の場合は干された洗濯物の「全体的な美しさ」で勝敗が決まります。競技名は、らん♪ RUN Laundry らん・ラン・ランドリー。今年も学生諸君は、あつと言わせる面白いロボットを開発してくれるでしょう！



消費生活
アドバイザー
佐藤祐一郎

副業をきっかけに地域の「再発見」をする

こんにちは、メガネのサトウ4代目です。私は、数年前から週3回ほど、店の営業終了後に大手宅配便会社の配達助手をしています。ネット通販の急拡大や、昼間ご不在の方の再配達などで、夜間の配達員が不足しており、日頃当店とお付き合いのある宅配便会社から副業のお誘いを受けたものであります。夜7時頃から2時間弱、台車を押して徒歩による配達方式のため、自身の運動不足解消を兼ねて南千住の町内を歩き回っています。

自分が住み、商売を営んでいる町内でも、宅配便の夜間配達員という別の視点で眺めてみると、様々な「再発見」があります。日頃通行することのない路地の奥などへお伺いする際などは、まるで知らない街に迷い込んでしまったかのような錯覚さえ起こさせます。配達を通じてこの街の人や建物や土地利用の千差万別に接することで、南千住には一言では語れない魅力や可能性を秘めていると思う一方、住環境や防災などに関する都市問題を抱えていることも認識させられます。軽い気持ちで始めた副業でしたが、地域を見直し、考えさせられる貴重な経験になっています。もうすぐ、素盞雄神社、胡録神社のお祭りです。南千住が最も華やぐ一日、当店はいつも通りに眼鏡店の仕事を通じて地域社会に貢献いたします。



■メガネのサトウ ■ www.megane-sato.com
南千住5の43の13 【東京新聞並び】
TEL 03 (3806) 4930

★休業日のご案内★
5月・6月：毎週火曜日が定休日です。

★営業時間のご案内★
平日（月〜金）：AM 9時〜PM 6時30分
土休日：AM 10時〜PM 5時

セールのお知らせなどはホームページをご覧下さい。平日・土休日とも、時間外のご来店を希望されるお客さまは、ご相談に応じます。電話または店内にておたずね下さい。